

野田現代邦楽アンサンブル 箏曲 真結の会

2026年野田市文化祭プログラム

1. 「大きな古時計」 ヘンリー・クレイ・ワーク 作曲 佐藤義久 編曲

1963年「みんなのうた」として放送され日本にも広まったこの曲は、もともとアメリカ人ヘンリー・クレイ・ワークがイギリスに旅行に行つて古びた時計を見た時に作られたものです。

2. 「ルージュの伝言」 荒井由実 作曲 渡辺泰子 編曲

1989年公開のスタジオジブリ映画『魔女の宅急便』のオープニングテーマとしても起用され、幅広い世代に親しまれています。

3. 「リベルタンゴ」 アストル・ピアソラ 作曲 竹内智樹 編曲

アルゼンチンの作曲家・バンドネオン奏者であるアストル・ピアソラが1974年に発表した代表曲です。世界中の多くのアーティストにカバーされており、チェロ、ヴァイオリン、ギター、ピアノなど多様な編成で演奏されるコンサートの定番曲となっています。

2026年10月竹内智樹が「箏・十七絃・尺八」の三重奏として、箏曲用にアレンジし本日が初演となります。

箏 石賀真衣子 十七絃 竹内智樹 尺八 樋口景山^{けいざん}

竹内智樹 プロフィール

2009年箏によるポップスコンクールにて自身のアレンジ作品『冷静と情熱のあいだ』が家庭音楽賞を受賞。又、箏曲用にアレンジした葉加瀬太郎作曲の『情熱大陸』は、数多くの団体や学校へ楽譜の提供を行っている。

今迄になかった「箏とエレキギターのコラボ」を企画し「和と洋の統合」を推進している。その中でも、宮城道雄作曲の「春の海」を「箏・十七絃・エレキギター」の三重奏にアレンジしたり、フィギアスケートの羽生結弦で知られたゲーリー・ムーア作曲の「ザ・ローナー」を「十七絃とエレキギター」に編曲したりと活躍している。